

「連日の猛暑、でも電気代が心配…」

クーラーへの電気代補助

品川区に提案

日本共産党



玄関先では40℃

連日、暑い日が続いています。都内でも気温が38℃を超える日も。「玄関先の温度計を見たら道路の照り返しもあるのか、40℃を超えていた」との声も寄せられています。

例年を超えるような夏の厳しい暑さ。熱中症による救急搬送も増加。環境省は熱中症警戒アラートを発表し「外出をなるべく控えて、こまめな水分補給と適切なエアコンの使用」等呼びかけています。

気象庁は「8月は期間を通して猛暑日の日数が増える可能性も。熱中症への対応を引き続きお願いしたい」と説明。まさに災害級の猛暑です。

「もう我慢も限界」

「電気を消して、扇風機ひとつで生活している高齢者がいる」とホームヘルパーは話します。部屋にクーラーはあるものの、適切に使用されておらず、体調をとっても心配しています。

また、高齢者を訪問し、クーラーの使用を呼びかけている民生委員は「多くのお年寄りが電気代を心配し、使用を控えている」と話します。

猛暑から、いのち・暮らしを守れ

共産党は食料品等の物価高騰や電気代値上げから住民のいのちと暮らしを守るため、5月に緊急要望を品川区に提出。「電気代の支払いが心配で、クーラーを控える高齢者が多い」と、暮らしの実態を示し、所得の少ない世帯へのエアコンの設置及び電気代への補助等を提案しました。

品川区議会の5月・7月の補正予算でも繰り返し提案。5月補正では住民税非課税世帯等への3万円給付金が実現しました。8月中旬にも対象世帯に3万円が口座に振り込まれます。

しかし、電気代補助については「その考えは無い」と冷た



日本共産党品川区議団

「これ以上は、削れない」

少ない年金で生活をしている私にとって、食料品の値上げや電気代の値上げは死活問題です。もうこれ以上、削るところがありません。毎月の電気代の請求が心配で、心配で。クーラーなしは、もう我慢も限界です。

80代 女性

実現へ 引き続き奮闘

食料品や電気代など相次ぐ値上げに対して、無為無策を繰り返す岸田政権に怒りの声もあがっています。

同時に夏の猛暑や熱中症から住民を守るため、品川区の独自策は急務。とりわけ高齢者への支援はいのちに関わる重大問題です。

気候危機、打開へ

猛暑や線状降水帯による災害など、地球温暖化による気候危機対策もまったなしです。

省エネルギー化の推進、石炭火力発電の廃止、脱原発、再生可能エネルギーの抜本活用など対策は急務です。

補聴器の購入助成 带状疱疹ワクチン助成

7月から制度がはじまりました ご利用ください

●品川区高齢者補聴器購入費助成事業

- ◇対象者(65歳以上の品川区民、住民税非課税、耳鼻咽喉科の医師から基準の証明を受けた方等)
- ◇助成額(上限3万5千円、5年毎の再度申請あり、助成決定前に購入した機器は対象外)
- ◇事前確認依頼書の配布先(区ホームページ、区役所3階高齢者地域支援課、各ゆうゆうプラザ、シルバーセンター、地域センター、在宅介護支援センターなど)
- ◇問い合わせ 品川区高齢者地域支援課:電話03-5742-6802



●带状疱疹ワクチン予防接種費用の一部助成

- ◇対象者(50歳以上の品川区民)
- ◇およそ半額補助(ワクチンの種類で異なります)
- ◇事前に区が発行する予診票が必要です
- ◇問い合わせ 品川区保健所保健予防課:電話03-5742-9152

ご意見・ご要望をお寄せください

日本共産党
品川区議団報告

発行:日本共産党品川区議団
2023年8月号 発行責任者:安藤 たい作
TEL.03-5742-6818(直通) FAX.03-3778-308E
メール info@jcp-shinagawa.com
ホームページ 共産党品川 検索

運用開始から4年目

あまりにうるさい
引越したい

羽田新ルート 中止へ全力

日本共産党



大井町駅前



「いつもの日常が航空機騒音で一変。あまりにうるさくうんざりです。子ども達が独立したら、引越しを考えたと思っています」―羽田空港への着陸機が品川区を低空飛行する羽田新ルートの運用強行から4年目。切実な声が続く寄せられていきます。

国への中止要請を拒む森澤区長

共産党は住民の声を繰り返し取り上げ、森澤区長に国に羽田新ルートの運用中止を要望するよう再三、追求しています。

ところが区長に中止要請の考えはなく、理由に国土交通省が検討会を設置し検討している事をあげます。

この検討会の実態は時間稼ぎの「ゴマカシ」です。「ルート見直し」と述べながら、品川区を低空飛行する事が前提なのです。

しかも、この1年間は開催すらされず、結論を出す日程も決まられていません。

品川区議会では

こうした区長の姿勢を問うのが区議会の役割です。ところが住民が提出した陳情※(羽田新ルートにつ

いて区長による実見分と国との計画撤回交渉を求めるとの(賛成は共産5名含む9名で、否決となりました。)

低空飛行の中止を求めない区長と区議会の姿勢を正さなければ、住民の苦しみは解決しません。引き続き力を合わせましょう。



※羽田新ルート中止等を求める陳情の本会議採択の様子。起立=賛成9、着席=反対30、共産党は写真左の5名。詳しくは下表をご参照ください。

品川区がアンケートを実施

8月より区は36万人区民を対象に品川区民アンケートを実施。6ページ目に「羽田空港の新飛行ルートに関すること」の設問があります。

航空機の低空飛行による生活への影響や区民の声を積極的に届けましょう。回答のメ切は8月31日です。

ストップ大軍拡

「軍事で平和はつくりえない」と「市民連合しながらわ」は、岸田政権が進める安保関連3文書や財源法に反対する意見書提出を区議会に求めました。

抑止力を理由に、大軍拡を進める岸田政権。しかし、軍事対軍事では、国際紛争は解決しません。国連憲章と憲法9条いかした外交が大切です。



特養ホーム増設

「さらなる特養ホームをつくる考えが、なぜ森澤区長に無いのか」。400名の高齢者が特養入所を待つ中、3年間で3ヶ所240名分の特養増設では足りない、さらなる増設を区長に求めました。

区長は増設計画を拒否。これでは高齢者の暮らしは守れません。特養増設へ、引き続き頑張ります。



リニア中止

既存新幹線の4倍もの電力消費、残土処理の問題、6つの活断層を貫通、南アルプスの環境破壊、そもそも社会的に必要な問題山積のリニア新幹線中止を求めました。

調布の陥没事故でも大深度地下工事の危険性は明らかになりました。リニアの始発駅は品川です。無駄な巨大プロジェクトを、ここでストップさせましょう。



4月区議選後の初定例会。各党・区議は住民の願いに対して、どんな態度をとったのでしょうか。7月11日の最終本会議で採決された、請願・陳情署名の結果を紹介します。○は賛成、×は反対です。

請願・陳情	会派名(人数)	共産(5)	自民・無(8) *議員は採決に加わらない	公明(7)	しながわ未来(6)			品改(3)	維新(2)	無所属(8)				
					立憲(2)	ネット(1)	無所属(3)			れいわ(1)	参政(1)	国民(1)	西本(1)	他(4)
安保関連3文書・防衛財源確保法に反対する意見書提出に関する請願		○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×
大井・西大井地域に特別養護老人ホームの建設を求める請願		○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
適格請求書等保存方式(インボイス制度)の実施延期を求める請願		○	×	×	退席	○	×	○	×	○	○	×	×	×
森澤区長が羽田増便による都心飛行ルートの航路下で実況見分する件についての陳情		○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×
問題山積みのリニア新幹線中止を求める陳情		○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×



鈴木ひろ子



なかつか亮



安藤たい作



石田ちひろ



のだて稔史

生活相談はお気軽に 日本共産党品川区議団